

# 山田小学校だより (Metamorphose)

文責 校長 谷川晴峰

## 来週の12日(水曜日),「平戸市学力テスト」が実施されます!

「またか!」と思われる方もいらっしゃると思いますが、12月12日(水曜日)に、上記のテストが実施されます。「学力が全てではない!」との御意見もよく耳にしますが、学校は学びの場です。最優先すべき課題が、「学力の保証」なのです。

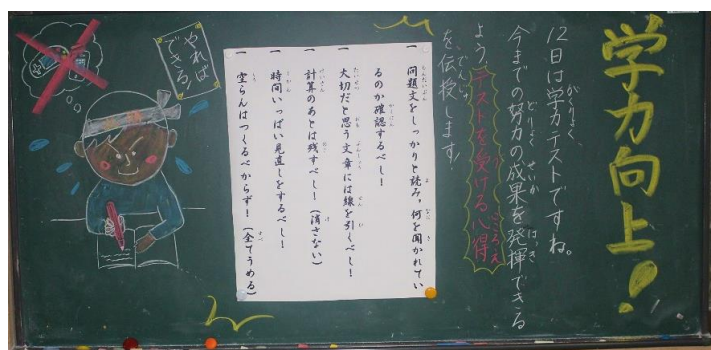
現時点では、学力テストは3つに分類されます。

全国学力テスト・・・6年生が対象	教科は、国語と算数 (来年度も、理科を実施)	4月実施
長崎県学力テスト・・・5年生が対象	教科は、国語と算数	4月実施
平戸市学力テスト・・・全学年が対象	教科は、国語と算数	12月実施

今回のテストは、今年度学習した内容の定着率を確かめる絶好の機会だと思います。学校全体で、職員一体となって指導に取り組んでいます。子供たちの努力もあり、少しずつではありますが、着実に足元を固めつつあります。尚一層の指導方法や課題の与え方について、改善を図っていきます。

この学校便りでは、近未来に起こるであろう事柄を推測し、危機を回避するための方法や手段、考え方等についてお知らせしていますが、今一つ、切迫感が無いのが現状のようです。遠い未来の話ではなく、まさに「今そこにある危機 (CLEAR AND PRESENT DANGER)」なのだと思います。

これから10年後、今存在している様々な仕事が自動化され、人間の力を必要としない時代が到来するだろうと予測されています。どんなに時代が変わっても、AIに取って代わられることのない仕事ができる人間になることが、最善の選択になります。そのためには、「知(智)力」が必要なのです。表層的な、薄っぺらな「学力」とは、明らかに次元の違う「学び続け、自己を変革し、創造して、そして生き延びる力・生き残る力」を身に付けなければ、淘汰されていくのみです。



中央玄関の掲示板：気合十分です!

「家(うち)の子は、学力よりも運動だ!」という考え方を否定する気は、毛頭ありません。しかし、旅の途上に危険な崖や落とし穴があれば、「その道は危ないよ!こちらの道を選んだ方が安全だよ!」と導くのが、親であり教師であると思います。責務と言っても過言ではありません。

気温の急激な変化で、体調を崩すことも予想されます。「手洗い」と「うがい」を心掛け、「朝ごはん」をガッツリ食べさせてください。「体が資本」であることは、「学力定着」の必須条件です。子供たちの未来のため、「今、何をなすべきか」、「どうすれば豊かな人生」を獲得できるのか・・・答えは明快です。あとは、実践と継続です。時間を大切に!10年後に、泣かないために!

今から、11年前頃を思い出してください。iPhoneが発売された2007年、ほとんどの人々は、携帯電話が今のような形に進化するだろうとは想像できなかったに違いありません。今の子供たちは、アノ「黒電話」も「公衆電話」も、知らないと思います。いずれ、スマートフォンでさえ、「過去の遺物」になる時代が到来します。時代の波は、今後ますます激しくなるのです。